

科目名	現代政治学特殊研究	担当者	アオキ 青木 カズヨシ 一能	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>とくに冷戦が終結して以降、情報通信、運輸技術の革命的発展と相俟って、世界はグローバリゼーションと呼ばれる時代状況に向かった。それは国家間の稠密なネットワークを形成させ、さらに従前の国家という枠組みを市場競争主義によって貫通し、「国家の揺らぎ」現象を顕在化させている。そこで本特殊研究では、このグローバリゼーションによって生ずる様々な状況を捉え、とりわけ危機的な側面への対応を検討するものとする。無論、グローバリゼーションはいまのところ世界経済の活性化をもたらし、日本においても市場競争主義をより強化してそこでの利益を得ようとする政治動向が見られる。それらの動向をも視野に入れながら、グローバリゼーションを多角的に捉えることを目的にする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバリゼーションのもたらす様々な社会現象を把握し、その将来的展望を含めた自らの認識と見解を持つこと。 2. とくにグローバリゼーションの「負」の効果を見だし、それらに対する危機管理への展望を見出すこと。 3. その延長線上に、今後の中・長期的な国及び世界の将来展望を描いていくこと、などを狙いとする。 		
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教材図書をまず読解し、そこで生ずるであろう疑問や意見を更なる資料や情報を通して処理していくことが望まれる。 2. グローバリゼーションに関わる情報・資料は近年枚挙に暇がないほど出回っており、可能な限りそれらを探求することで重層的な考察が図れるようにすること。 3. その過程において、教員との活発な意見交換を行うことが望まれるし、それはまた受講上の必要条件であること。 		
スケジュール	<p>前・後期共に最終提出期限の少なくとも1ヶ月前には1回目の草稿レポートを出して欲しい。無論、その前段において、それまで受講生が収集した情報・資料などを基にした意見・認識をメールなどを通じて教員に提示し、意見交換やアドバイスを受けて欲しい。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	レポートの内容に可能な限り自らの見解を盛り込んでいるかを評価の重要なポイントとしたい。
	平常評価	30%	レポート作成に至る過程での意見交換の内容やその情報収集量などを総合的に判断する。
履修者への要望	<p>今回提示した教材はグローバリゼーションがもたらす危機的側面を主に扱っているが、それを肯定的に捉える必要はなく、自らの見解を持てる、あるいは打ち出せることが望まれる。現在、動的に進行する状況を対象とするだけに日々変化する事柄に常に注意を払い、鋭敏な感覚で物事を捉える努力を払って欲しい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： 青木一能編 教材名： 『グローバリゼーションの危機管理論』（芦書房，2006年）ISBN:978-4-75-561194-0 2,000円+税</p> <p>本書は日本大学学長指定研究の一環として出版されたもので、グローバリゼーションを様々な角度から考察している。一種の学際的アプローチを意図したものだが、そこで全てが言及されているわけではないし、多くの筆者の見解が統一されたものでもない。あくまでも受講生のアプローチの一助になるためのもので、既述のごとく、その他に多くの文献や情報に接することが望まれる。</p>
参考図書	<p>関連する文献は大量にある昨今、可能な限り受講生諸君の情報収集能力を發揮して欲しい。具体的には教材の各章で挙げられている参照、引用文献などを直接的にアプローチすることは必要かも知れない。</p> <p>例えば、D. ヘルド他『グローバル化と反グローバル化』（日本経済評論，2003年） ISBN:978-4-81-881554-4 T. フリードマン『レクサスとオリーブの木』（草思社，2000年） 上 ISBN:978-4-79-420946-7/下 ISBN:978-4-79-420947-4 J. S. ナイ他『グローバル化で世界はどう変わるか』（英治出版，2004年） ISBN:978-4-90-123451-1 3,400円+税 など</p>
履修上のポイント	<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバリゼーションなるものの実態を的確に把握する。 2. そこで生ずる正負両面の現象を把握する。 3. 特に負の側面に関する対応について検討する。
レポート課題 1	<p>教材（全13章）のうちから前半部の6章までのなかで重視する分野あるいはポイントを抽出し、それに関する自己の見解を交えてレポートを作成する。</p> <p>留意点：各章において不足すると思われる点については自らの情報で補強補完し、その出所情報を明記する。</p>
レポート課題 2	<p>課題1で取り上げなかった分野を選択し、それを課題1と同様に自己の見解を明確にしつつレポートをまとめてほしい。</p> <p>留意点：上記と同じ。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： 青木一能編 教材名： 『グローバリゼーションの危機管理論』（芦書房，2006年）ISBN:978-4-75-561194-0 2,000円+税</p> <p>本書は日本大学学長指定研究の一環として出版されたもので、グローバリゼーションを様々な角度から考察している。一種の学際的アプローチを意図したものだが、そこで全てが言及されているわけではないし、多くの筆者の見解が統一されたものでもない。あくまでも受講生のアプローチの一助になるためのもので、既述のごとく、その他に多くの文献や情報に接することが望まれる。</p>
参考図書	<p>例えば、D. ヘルド他『グローバル化と反グローバル化』（日本経済評論，2003年） ISBN:978-4-81-881554-4 T. フリードマン『レクサスとオリーブの木』（草思社，2000年） 上 ISBN:978-4-79-420946-7/下 ISBN:978-4-79-420947-4 J. S. ナイ他『グローバル化で世界はどう変わるか』（英治出版，2004年） ISBN:978-4-90-123451-1 3,400円+税 など</p>
履修上のポイント	<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバリゼーションなるものの実態を的確に把握する。 2. そこで生ずる正負両面の現象を把握する。 3. 特に負の側面に関する対応について検討する。
レポート課題 1	<p>教材について残る7章以降のなかから章（複数章も構わない）についてポイントを抽出し、それに関する自己の見解を交えてレポートを作成する</p> <p>留意点：可能な限り、多くの文献を参照してまとめてほしい</p>
レポート課題 2	<p>課題1の部分で取り上げなかった章（もしくは複数章）で興味ある分野を取り上げ、自己の見解を明確にしつつレポートをまとめてほしい。</p> <p>留意点：課題1と同様</p>